

# 環境情報センター NEWS

VOL.30

平成 23 年 6 月 1 日発行

発行：相模原市立環境情報センター

指定管理者  
NPO 法人さがみはら環境活動ネットワーク会議

皆さんのエコ活動を応援します！

## 相模原市立環境情報センター

環境情報センターでは、環境について学習したり、創造したり、情報を得たりするための様々な取り組みを行っています。今回は、環境について学んだり、環境について活動したりする時に役立つ情報をご紹介します。

環境情報センターでは、環境に関する図書・DVD・ビデオをいつでも読んだり、見たりすることができます。また、図書、教材、備品の貸出も行っていきます。貸出を希望される場合は、身分証明書をお持ちください。

### 図書の貸出

環境情報コーナーの図書は一人 2 冊まで最長 2 週間貸し出します。センターにある図書の一覧は、ホームページで見ることができます。また、環境に関する DVD やビデオ、パンフレット類などもあります。

たとえば、こんな本や DVD などがあります



- 楽しく環境を学べる絵本
- 昆虫や鳥、植物などの図鑑

- 太陽光発電や生ごみ堆肥化など、環境に良い活動をするときに参考になる本
- 環境関係の法律を調べるときに便利な本



- 野生動物の生態の映像や環境問題を映像で紹介している DVD

### 環境活動関連の備品の貸出

環境情報センターで保管している教材や備品は、最長 5 日間貸し出します。貸出備品には屋外に持ち出せる備品と、環境情報センター施設内のみで貸し出す備品がありますので、事前にお問い合わせください。貸出備品の一覧は、ホームページで見ることができます。

たとえば、こんなときにこんなものを借りられます

- 「団体が環境関係のイベントを開きたい」
  - 「環境問題を考えるシンポジウムを開きたい」
- 地球温暖化説明パネル、折りたたみ椅子、イベントテントなど

- 「自然観察会を開くけれども機材が足りない」
  - 「家の節電対策をするので待機電力を測定したい」
- 顕微鏡、pH メーター、デジタル騒音計、ワットチェッカー、双眼鏡など



ソーラークッカー

ワットチェッカー デジタル騒音計

- 「学園祭で環境の体験学習会を開きたい」
  - 「ボーイスカウトで環境に配慮した活動をしたい」
- 手回し発電機、紙すき枠、ソーラークッカー、自転車発電機など

本紙は環境に配慮し、ベジタブルインクと再生紙を使用しています。 イラストレーション アトリエ福菓

センターニュース30号はいかがでしたか？みなさまのご意見ご感想をお寄せください。お待ちしております

## 環境のちよこつと話 No.15

### 「山火事を乗り越える植物 バンクシア」

現在、地球上の森林は伐採や農地の開拓などにより減少しています。この荒れた土地が自然の力で元どおりになるには温帯林で 200 年～ 300 年、熱帯林で 400 年～ 500 年かかると言われています。特に熱帯雨林の伐採された土壌は粘土質で栄養分が浸透しにくいので樹木の成長が悪く、その表層にある養分を含む土はとても薄いので雨によって流されてしまうなど、一度森林が破壊されると簡単に再生されません。

オーストラリアに、小さな花がたくさん集まってコップを洗う細長いブラシのような花形と果実を持っているバンクシアという植物があります。オーストラリアはとても乾燥しているため山火事がよく起こります。バンクシアの果実は山火事による炎の熱により殻が弾けて種子を地面に蒔き散らし、燃え尽きた地面から新しい命が芽を出し林を形成していきます。

山火事により絶滅する樹木が多いのですが、このバンクシアのように山火事を乗り越えて子孫を残す植物もあります。

自然の力は偉大ですね。



## 相模原市立環境情報センター

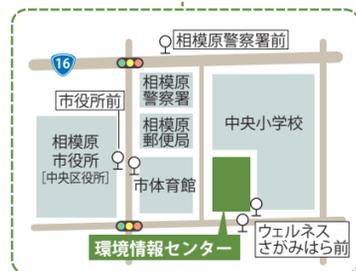
〒252-0236  
相模原市中央区富士見 1 丁目 3 番 4 1 号  
TEL. 042-769-9248 FAX. 042-751-2036  
■ E メール kankyo@eic-sagamihara.jp  
■ ホームページ <http://www.eic-sagamihara.jp/>  
■ 開所時間 午前 9 時～午後 5 時  
■ 休所日 毎月第 3 木曜日、年末年始、施設点検日

お気軽にご利用ください



### 交通

- JR 相模原駅から
    - ① 徒歩約 20 分
    - ② バス「市役所前」下車徒歩 1 分  
「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
  - JR 上溝駅から
    - ① バス「市役所前」下車徒歩 1 分
- なるべく公共の交通機関をご利用ください。



## 生きものの命を守る森林

みなさんは森にハイキングに行ったり、林にカブトムシを探しに行ったりしたことがありますか。木々の間からふりそそぐ光、葉っぱのざわざわする音やにおいなどは私たちに良い気分させてくれます。

でも森林の役割はそれだけではありません。

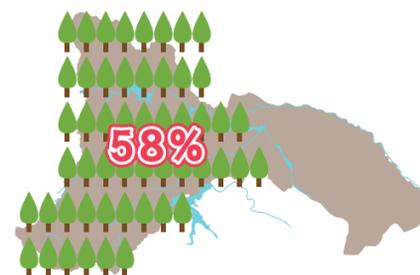
森林はさまざまな植物や動物の生きる環境をつくり、人々の生活を支えてきたのです。

### 森の役割



## わたしたちの暮らしにとっても大切な森。だけどいま... 相模原市の森林が荒れている！

相模原市には森林がたくさんあることを知っていますか？ 相模原市は面積の 58% が森林です。その約半分はスギやヒノキなどの人工林で、多くは緑区の山にあります。緑豊かな森林は私たちの大切なたからものです。



### ところが大変！

いま、市内の森林の多くは、手入れがされていないためにとても荒れてしまっています。それは相模原だけでなく、日本中の森林がかかえている問題です。なぜ、森林は荒れてしまったのでしょうか？

# なぜ、森林は荒れてしまったんだろう？

## 外国産の木材に囲まれた暮らし

みなさんの身のまわりにある木製品はどこの木で作られていますか？

そのほとんどは外国産の木でしょう。日本は木材供給量の約80%を外国から輸入しています。その方が国内産の木材より安いからです。国内産の木は育てても売れないので、森林の手入れを仕事にする人が減ってしまったのです。

外国から輸入された木材が安く売られました

国内産の木材が売れなくなってしまいました

森林の手入れを仕事にする人が減ってしまいました

# 森林が荒れるとどうなるの？

## たくさん問題が起こっている

人の手が入らなくなり荒れて姿を変えた森林では、生き物たちの食べ物や、すみかがなくなります。また落ち葉などからできた豊かな土の層がへり、少しの雨でも土砂がずれておきてしまいます。流された土砂により川や海の水がにごったり、底に土砂がたまってすることで、川や海の生き物が育たなくなることもあります。

草木や昆虫、鳥などの生き物が減ってしまいます

土砂災害などが発生しやすくなります

川や海の生き物が生きる環境を壊してしまいます

## 雨が続くと...

### 元気な森のある環境

元気な森は水をためて災害を防ぐ

水は栄養を含み貴重な資源になる

### 荒れた森のある環境

荒れた森は水をためられない

土砂がずれるなど災害につながる

# 森林を守る仕事ってどんな仕事？

日本の国土の66%は森林です。そのうち、約40%が人工林（人の手によって植えられた森林）です。人工林はしっかり管理をすることにより、私たちの暮らしや地球のために役立ってくれます。



森林を守る仕事を「林業」といいます。ハシゴやチェーンソーのほか頭を守るヘルメット、耳を守るイヤーマフなどを使って仕事をします。

えだう 枝打ち ふしがなく形のきれいなよい木材にするため、下枝を切り落とします。

森のことをたくさん知っているよ！

したか 下刈り

植えた苗木の成長を妨げないようにまわりの雑草木をかります。

鳥の巣をこわさないようにね



苗木に栄養がいくようにするんだよ

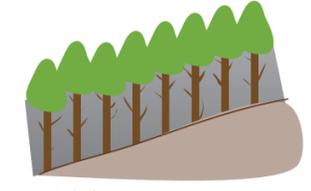
枝打ちをしないと...

ふしの多い木になり、木材にしても高く売れなくなります。



枝が多いまま育つと... ふしが多くなる

間伐をしないと...



木が密集して日あたりが悪くなり、もやしのような木になったり、下草が育たなくなります。

かんばつ 間伐

木と木の間をあけて、大きな木が育つ環境をつくります。地面に光が入り、下草も成長しやすくなります。

どの木を残すか選ぶのも職人ワザなんだよ



今年は国際森林年です

世界中の国々が、森林の再生や、途上国の森林保全などを目的とした活動をすすめています。どんな取り組みがあるのか、調べてみましょう。

林野庁のホームページ  
http://www.rinya.maff.go.jp/

森林について調べてみよう。

■書籍  
環境情報センターの図書コーナーにありますよ



森の総合学習①  
「森といのち」  
—生命をほぐくむ森—  
七尾 純著 (樹あかね書房刊)  
[森の総合学習シリーズ]  
② 森の科学—森の不思議をさぐる  
③ 森と環境—森が消えていく  
④ 森とくらし—森とともに生きる



身近な植物と友だちになる本③  
「はやく芽をだせ カキのたね」  
—木のたねを育ててみよう—  
おくやまひさし著  
偕成社刊

# 森を元気にするため、私たちにできること

## 国内産の間伐材をもっと活用しましょう

森を手入れするときにする間伐材のうち、現在利用されているのは10%程度です。わりばしなど、国内産間伐材を使ったものを選びましょう。

## 森林を守る活動に参加しましょう

森林ボランティアや、さまざまな講習会、イベントなどが行われています。家族や友だちをさそって、できるところから参加してみましょう。

ほかにはどんなことができるかな？  
考えてみよう。



## 森の仕事を見に行こう

森を守る活動の拠点 **青根草木館**

TEL 042-780-8437  
神奈川県相模原市緑区青根1377-1  
営業時間/10:00~18:00  
定休日/火曜日・第3月曜日  
http://www.business1.jp/soumoku/  
http://twitter.com/aonesoumokukan

入口を入ったとたん、フワー！ととてもいい木の香りがします。この建物はすべて相模原市を含め神奈川県内の森の木が使われており、2階建てのふきぬけで、開放感のあるホットできる空間です。カベには、枝打ちをしなかったためにふしが多くなった板を使っています。「青根草木館」は国道413号沿いの青根にあり、林業会社の(株)サトウ草木がこの地域の活動拠点施設として作りました。ここでは地域で作られた野菜や、神奈川県産の木で作った家具や小物の販売、軽食の提供などのほか、木工体験コーナーや子どもたちの林業体験の指導、山の整備に若者の雇用をおこなう場として使われます。館長の土田さんは『間伐は自然を守る仕事。木材として使わなくても木を切らなければ森は守れません。青根草木館では、材木がどのように使われるかを展示し、森林を整備することに関心を持ってもらうための活動を行っています』と話していました。



2階の研修室は会議や講習会などに利用30名ほど収容できる。

## 相模原にもできるといいな 木質バイオマス発電



今、全国で森林や樹木の資源を活用するための取り組みが広がっています。

相模原と同じように森林資源が豊富な東京都あきる野市では、製材所から出る使わない端材や間伐材を使ってお湯をわかしたり、発電したりしています。このような取り組みが相模原でもはじまるといいですね。

※木材を燃やす時にCO2が発生しますが、樹木は生長する時に二酸化炭素を吸収しているため、全体で見るとCO2は増やしていません。

木質バイオマス発電とは？  
木の廃材・端材や、間伐材などを燃やした熱で蒸気を作り(写真①)、その蒸気の圧力でタービン(写真②)を回して電気を作る発電方法。環境保護やエネルギー確保の観点から、注目されています。  
※写真は秋川溪谷の湯

## さがみエコはらなかま

相模原市立 青根小学校  
新学校林創生協議会  
「地域で守る学校林は、豊かな体験の場」

青根小学校は明治6年に創立された歴史ある小学校です。木造2階建ての校舎は約70年前に建てられたもので、廊下などには津久井の木が使われています。小学校をぐるりと囲むように『学校林』があります。学校林とは、子どもたちが環境学習や体験学習をするための森林です。青根小学校の学校林は、地域の人たちで作る『新学校林創生協議会』と、ボランティアの方たちが協力して整備しています。

間伐により森林の中は明るく、散策路や見晴し台があります。子どもたちは授業やクラブ活動、シイタケの栽培、他校との交流など、さまざまな森林での活動を楽しんでいます。

昨年、子どもたちの手によってモミジやミツバツツジが植林されました。大きく元気に育つといいですね。

